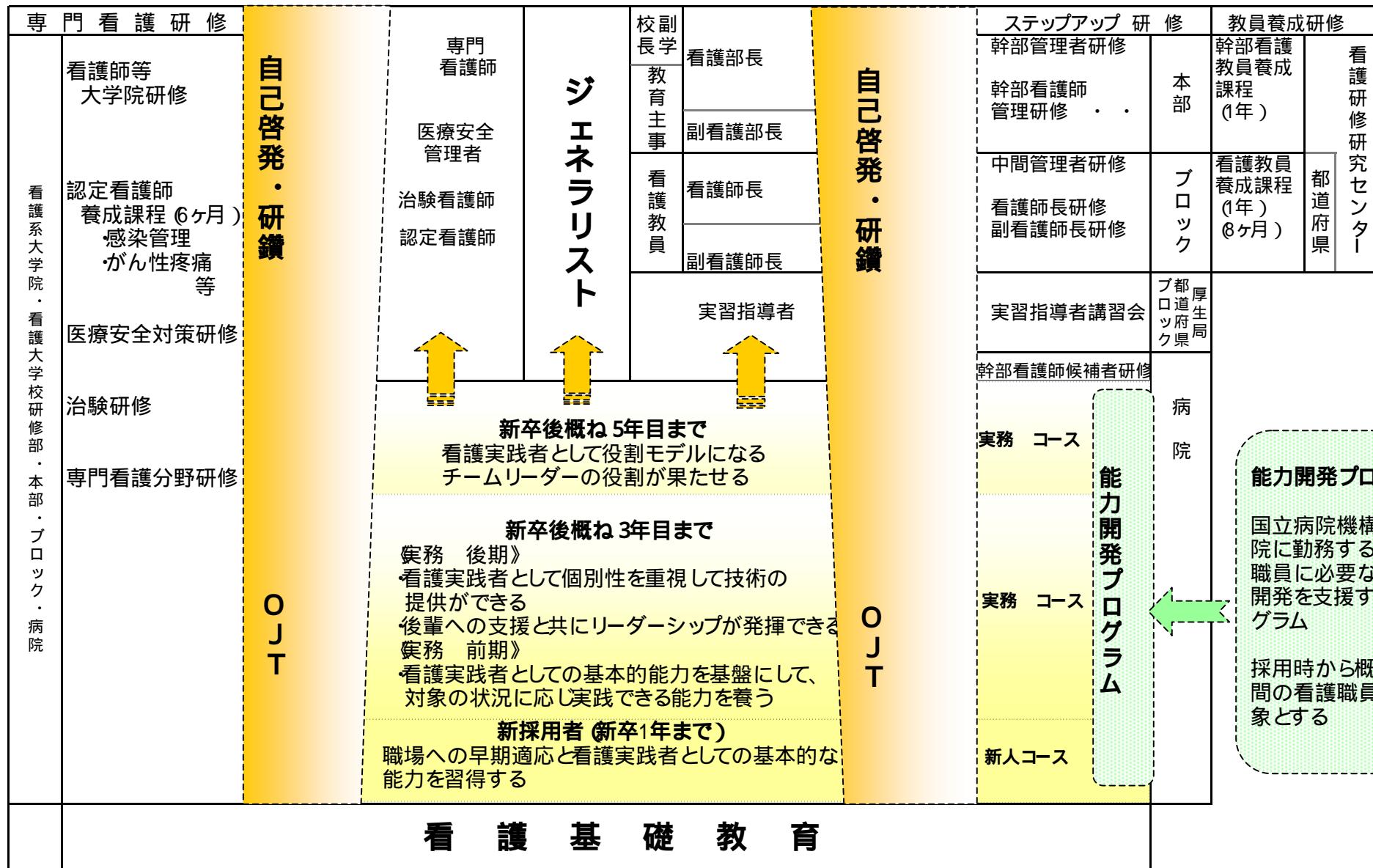
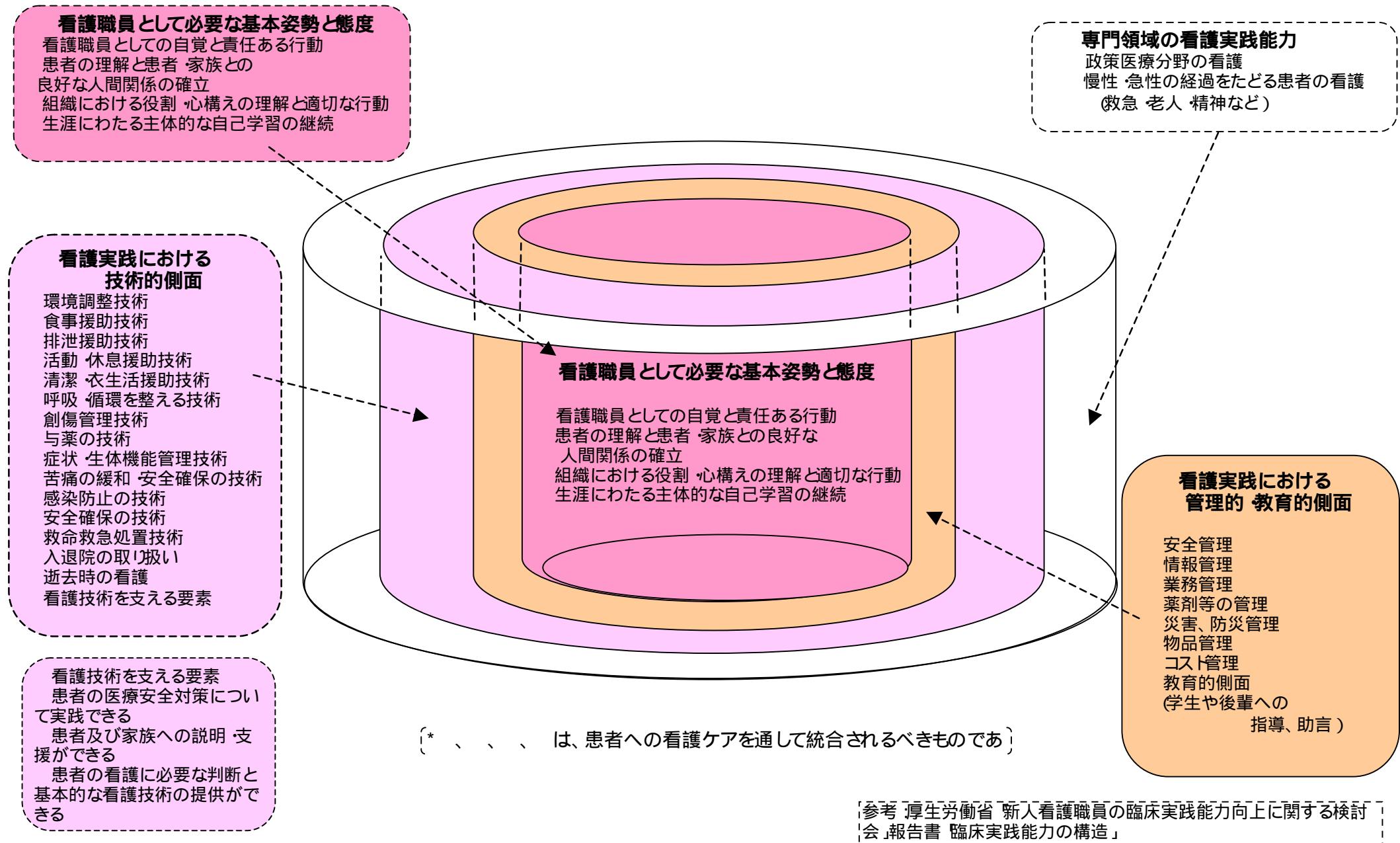


看護職員の能力開発(研修)体系図



主体的に学習し目指す看護に向かってステップアップしていく

看護職員能力開発プログラムの構造



平成19年度看護教育計画

目的 専門職としての資質と臨床実践能力を向上させ、社会の要請に応えうる質の高い看護を提供する。
目標 専門職としての責任を自覚する
 自己の役割を明確にし、根拠に基づいた看護実践能力の向上を図ることができる
 主体的にキャリア開発を目指すことが出来る

	研修名	到達目標	研修名	研修日時	対象	講師及び方法	ねらい
新人コース	採用 1年迄	1.職場の早期適応と看護実践者としての基本的な能力を習得する。	2ヶ月目研修 多重課題時間切迫シミュレーション	5/25 5/28 5/29 5/31 8:30 ~ 17:15	新採用者	演習 グループワーク	優先順位について考えられ、患者ケアができる。 困っていること悩んでいることを語ることで自分の課題を明確にする。
			針の取り扱い方 6ヶ月目研修 急変時の看護	9/7 9/10 9/11 9/14 8:30 ~ 17:15		演習 グループワーク	安全に針を取り扱うことができる BLSの実際の流れを知る。 急変時の対処方法を理解し、その行動を学ぶ。
			静脈注射確認 1年目研修	2/22 2/25 2/28 2/29 8:30 ~ 17:15		演習 グループワーク	静脈注射チェックリストに基づいて手順どおりに行える。 1年間を振り返り、今後の自分の目標を立てることができる。
実務コース	卒後概ね2~3年迄	1.看護実践者としての基本的能力を基盤にして、対象の状況に応じ実践できる能力を養う	静脈注射確認 危険予知訓練	6/22 6/25 6/28 6/29 8:30 ~ 17:15	2年目	演習 GW	注射のインシデントの事例を振り返り、自分の傾向に気づける。 まだ起きていないエラーを事前に防止する手立てを講じる能力を養う。
			看護実践報告	11/20 11/22 11/26 11/29 13:00 ~ 17:15	2年目	プレゼンテーション	自己の看護実践について振り返り、自己の看護観を育てることができる。 自分の考えをまとめ、発表する能力を養う。
		1.医療チーム内でメンバーシップを主体的に発揮する能力を修得する。	固定チームナーシング こんな看護がしたい	10/30 10:00 ~ 17:00	3年目	プレゼンテーション 西元勝子先生	病棟の現状の把握と課題について述べることができる。
			7/3 7/6	3年目	教育委員会	固定チームナーシングについての基本的知識を再認識する。	
実務コース	卒後概ね4~5年目	1.専門職業人として研究的態度を修得することができる。	看護研究とは 論文の書き方	5/15(火) 13:30 ~ 16:30	4~5年目	県立大学(講義) 村上生美先生	研究プロセスを理解し、研究論文が書ける。 学会、専門雑誌上で発表できる。
			研究計画書の書き方	6/12(火) 13:30 ~ 16:30	4~5年目	県立大学(講義) 村上生美先生	
			看護計画書の指導	7/20(金) 9:00 ~ 13:00	4~5年目	県立大学(グループ) 村上生美先生	
			発表会総評	1月	4~5年目	県立大学 村上生美先生	
卒後 6年目以上		1.積極的に自己能力の向上・開発につとめることができる。	看護サービス	10/12(金) 13:00 ~ 17:15	6年目以上	プレゼンテーション 病棟で1例	看護ケア改善のための事例を発表し、病棟間での共有を図る。 看護の質の向上に役立てることができる。
専門分野研修		仮 感染 - 看護の視点から「口腔ケア」	感染管理	6/19(火) 18:00 ~ 19:30	全員	形山感染管理認定看護師他	EBMに基づいた感染防止の為の口腔ケアを見直すことができる。
		仮 呼吸のフィジカルアセスメント	重症集中ケア	7/31(火) 18:00 ~ 19:30	全員	福光重症集中ケア認定看護師	実践を通してEBMに基づいた知識・技術の向上を図る。
		仮 学習会(事例検討)	ホスピスケア	1回/月	全員	大口ホスピスケア認定看護師	事例をとおして、実践力をつけ、終末期ケアに対する意識や知識の向上を図る。
全体研修		医療サービスの質の向上を目指す	シンポジューム	12/6(木)	全員	多職種	具体的な改善事例の成果を発表し、多職種間での共有を図る

*看護研究については、対象を4~5年目としています。次期看護研究者や、教育担当等幅広く一緒に可能な限り
聴講してもらってください。